

平成30年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会

校外教育 研究紀要



研究主題

「関わりあい 学びあい 高めあい」

～ 自己肯定感・自己有用感の育成 ～

学校番号／小117

学校調査番号／2546

所属所コード／48E05



八潮市立中川小学校

〒340-0822 八潮市大瀬 1516

TEL 048-996-1375 FAX 048-997-9029

1 はじめに

本校は、児童数230名、9学級（通常8、特支学級1）の小規模校で、今年度で創立47年を迎えた。八潮市の南端に位置し、中川を挟んだ飛び地であり、三郷市や葛飾区と隣接する。

2 研究の概要

（1）研究テーマ及びテーマ選定理由

テーマ：「関わりあい 学びあい 高めあい ～自己肯定感・自己有用感の育成～」

選定理由： 児童は限られた地域の中で過ごす傾向にある。三世代の家庭の割合も多く、古くからの伝統や文化が大切にされている。家庭・地域の学校教育に対する期待が大きく、その分協力的である。反面、限られた範囲での関わりになりやすく、決められたことはしっかりとこなすが、新たなことへのチャレンジ精神に欠ける部分がある。

そこで、「人や地域と豊かに関わる」ことに視点を当てた校外教育を研究することで、一人一人の豊かな学びを推進し、互いを高めあうことのできる児童を育成する。

（2）研究計画

○研究のねらい

地域行事への参加や地域の学校との交流を通して、地域の方等と関わりあい、学びあい、高めあいを深めることで、自己肯定感、自己有用感を高める。

○スケジュール

- 4月 ・中川子ども会「1年生を迎える会」
- 5月 ・親子除草作業 ・八潮音頭「運動会」 ・ごみゼロ運動（全学年）
・障がい者・高齢者スポーツの祭典参加（福祉委員）
・サツマイモ苗植え（2年）JAに協力依頼
- 7月 ・大瀬の獅子舞 ・林間学校（5年生）
- 8月 ・中川子ども会「ラジオ体操」 ・学習会（中学生ボランティア）⇒中止
- 9月 ・学校家庭地域合同防災訓練（全学年）
- 10月 ・サツマイモ収穫（2年）
・小松菜種まき（3年）JA協力依頼
・やしお市民まつりパレード参加（4・5・6年）・中川小バザー
・学校地域合同学校保健委員会（小・中・高の代表児童生徒）
- 11月 ・ありがとう集会（全学年） ・修学旅行（6年生）
・八潮市総合防災訓練 ・校内持久走大会・豚汁会（全学年）
・命の授業（6年生）
- 12月 ・夢の実現に向けて（6年道徳ゲストティーチャーを迎えて）
- 1月 ・古新田保育所園児との交流（1年生）
- 2月 ・中川子ども会「6年生お別れ会」 ・研究紀要の作成

○期待される成果

- ・多様な交流活動を通して、多様な人間関係力が身に付く⇒自己肯定感の育成
- ・互いを理解し思いやる心が育まれる⇒自己有用感の育成

活動のキーワード つなぐ

ア 地域の伝統文化を「つなぐ」

- ・運動会での特別種目「八潮音頭」⇒ 地域婦人会の皆様による踊りの指導
飛鳥太鼓保存会の皆さんによる和太鼓実演
保護者地域児童と一緒に踊ることで、一体感を醸成



イ 地域の地場産業を「つなぐ」

- ・八潮名産「小松菜」の栽培・収穫 ⇒ J Aの協力を得て「種まきー収穫」の体験



- ・「藍染め注染」の伝統技術 ⇒ 実際に体験することで技術の伝承を実感



ウ 小・中・高を「つなぐ」

- ・合同学校保健委員会 ⇒ 小学生・中学生・高校生が主体となって保護者とともに議論



エ 防災体制を「つなぐ」

・本校独自の地域防災体制 ⇒ 学校・家庭・地域合同防災訓練「6つの訓練体験」

放水

土嚢積み

水消火器

起震車

バケツリレー

煙体験



・八潮市総合防災訓練 ⇒ 「八潮市子ども防災マイスター」の活躍

包括提携を結んでいる国士舘大学での講習の後、認定市全体の総合防災訓練で心肺蘇生法について実演



オ 未来へ「つなぐ」

・6年生「命の授業」 ⇒ 命を授かることの意義（自己存在感→自己肯定感の醸成）



・6年生「夢の実現にむけて」⇒ 地域のゲストティーチャーを迎えてワールドカフェ方式
考え・議論する道徳の授業を保護者・地域に公開

（自己肯定感→自己有用感の醸成）



3 研究の成果と課題

「つなぐ」をキーワードに「関わりあい」を大切にしながら活動することで、互いに意欲的に「学びあい」、自己存在感や自己有用感を「高めあう」ことができた。

今後は、さらによりよい「関わりあい」を研究することでテーマの実現に迫りたい。